

第 4 回国際原子力エネルギー協力フレームワーク（IFNEC） 運営グループ会合の結果について

平成 24 年 7 月 31 日
内閣府
原子力政策担当室

第 4 回 IFNEC 運営グループ会合（局長級）が平成 24 年 7 月 19 日に米国・テキサス州で開催された。また、これに先立ち 7 月 17, 18 日には同会場にて、基盤整備 WG・燃料供給サービス WG の合同会合が開催された。以下に運営グループ会合の結果概要を報告する。

1. 運営グループ会合日程

開催日：平成 24 年 7 月 19 日（木）

開催場所：テキサス A&M 大学（米国・テキサス州）

2. 主要国及び国際機関代表者

会合には、IFNEC “参加国”（Participant Countries、正式メンバー国）は 13 カ国、“オブザーバー国”（Observer Countries）が 2 カ国、“オブザーバー国際機関”（Observer Organization）は 1 機関が参加（参加リスト参照）。主要国代表者は以下の通り。

○主要国代表者

米国（議長国）：マクギニス エネルギー省次官補代理

日本（副議長国）：中野 内閣府大臣官房審議官

仏（副議長国）：カリユズニー 原子力・代替エネルギー庁シニアアドバイザー

中国（副議長国）：ゴウ 国家能源局副局長

IAEA（国際原子力機関）：アン スターツ統合原子力基盤グループ長

○我が方出席者

（内閣府）中野審議官、濱田調査員

（外務省）小林企画官

（経済産業省）藤井交渉官、一井補佐、鈴木調査員（燃料供給サービス WG 共同議長）

（文部科学省）前重調査員

3. 第 4 回 IFNEC 運営グループ会合（局長級会合）結果

（1）ホスト国、正副議長からの挨拶、各国代表自己紹介

運営グループ議長である米国エネルギー省のマクギニス次官補代理より、ホスト国として参加国に対し歓迎の意が示されるとともに、会合ホストであるテキサス A&M 大学及び Nuclear Power Institute に対し感謝の意が述べられた。

中野審議官（運営グループ副議長）より、副議長就任挨拶及び最近の我が国の原子力政

策に関する検討状況、日本の原子力発電所の再稼働状況について紹介した。続いて副議長国の仏のカルズニー氏、中国のゴウ氏が挨拶され、“参加国”のアルゼンチン、ブルガリア、カナダ、中国、フランス、ドイツ、ガーナ、日本、モロッコ、韓国、ウクライナ、英国、米国、“オブザーバー国”のエジプト、スペイン、“オブザーバー機関”のIAEAの各参加者から自己紹介がなされた。

(2) IFNECのこれまでの活動概要と会合における議題

マクギニス議長より、2011年9月にワルシャワで開催された執行委員会会合の概要報告として、東電福島第一原子力発電所の事故を受け、原子力安全強化に関する各国やIAEAをはじめとする国際的枠組みにおける様々な取組が重要であると認識されたことが紹介された。また一方で新たな原子力事業のための投資に関する課題に対処するため、適切な金融機関と共に今後の在り方を模索する機会を設けることが共同声明で決定され、2012年5月にファイナンスワークショップを開催したことが報告された。

(3) 2012年5月に開催されたIFNECファイナンスワークショップ結果報告

マクギニス議長より、本年5月にロンドンで開催されたファイナンスワークショップに関する報告がなされた。本会合には、IFNEC参加国に加え、ファイナンス関係者、産業界等も参加し、ファイナンスに関する専門家を交えた議論がなされた。

今後、ファイナンス関係者からの信頼を得るためには、原子力発電に関するプロジェクトの初期段階からすべての関係者による確実なコミュニケーションや透明性、リスクマネジメントのメカニズムが必要であること、政府の役割も重要であることが認識された。

議長より、今回の会合におけるファイナンス関係者の講演はIFNECにとり、非常に有用であることから、今後とも幅広いステークホルダーとの連携を図っていくことが重要であると述べられた。

(4) 基盤整備WG・燃料供給サービスWGの合同会合結果、個別WGの活動状況

マティソン共同議長（英）より、同会場で7月17日に実施された基盤整備WG・燃料供給サービスWGの合同会合の報告として、包括的燃料供給サービスに関する議論がなされ、10月にモロッコで開催予定の執行委員会会合にて議論内容が報告される予定であるとの紹介がなされた。

バーカート基盤整備WG共同議長（米）より、昨年10月31日、および今回の運営グループ会合前の7月17,18日に開催された基盤整備WGの活動内容の報告があった。福島事故の各国への影響について各国から紹介されるとともに、賠償や資金調達に課題があることが共有された。また、小型炉の検討状況やブルーリボン委員会の報告書、放射性場廃棄物管理のサブグループ活動、について報告し、情報交換が行われたことが紹介された。

鈴木燃料供給サービスWG共同議長より、これまでの同WGの活動経緯の紹介とともに、昨年コズドロイで開催されたWG概要の報告としてバックエンドの課題や燃料供給サービスに関する議論がなされたことが紹介された。

(5) 2012年のモロッコにおける執行委員会会合共同声明に向けて

次回執行委員会会合で発出する共同声明の骨子案について検討を行った。

(6) 次回執行委員会会合

次回、第3回執行委員会会合は2012年10月10日にモロッコでの開催を予定している。

(7) その他

2012年7月現在、IFNEC参加国(Participant countries)は31カ国、オブザーバー国(Observer countries) 31カ国、オブザーバー機関(Observer organization)は3機関。

(了)

第4回 IFNEC 運営グループ会合 参加国リスト

参加国 (13 カ国)	オブザーバー国 (2 カ国) オブザーバー国際機関 (1 機関)
アルゼンチン ブルガリア カナダ 中国 フランス ドイツ ガーナ 日本 モロッコ 韓国 ウクライナ 英国 米国	エジプト スペイン I A E A